

第9期 事業・決算報告書

2019年4月 1日から
2020年3月31日まで

I. 事業報告	1ページ
II. 決算報告		
1. 財務諸表		
(1) 貸借対照表	9ページ
(2) 貸借対照表内訳表	11ページ
(3) 正味財産増減計算書	12ページ
(4) 正味財産増減計算書内訳表	16ページ
(5) 財務諸表に対する注記	20ページ
(6) 附属明細書	23ページ
(7) 財産目録	24ページ
2. 監査報告書	28ページ

公益財団法人日本陸上競技連盟

第9期 事業報告 (2019年4月1日～2020年3月31日)

公益財団法人日本陸上競技連盟では陸上競技のさらなる発展のために、選手の競技力強化及び普及活動という二大事業を遂行するための組織基盤の確立を目指すとともに、相互の好循環を生み出すように各事業に取り組んだ。

主な諸事業は以下の通り。

1. 陸上競技の普及及び指導者養成に関する事業

(1) 指導者養成事業

- **JAAF 公認ジュニアコーチ (JSPO 公認陸上競技コーチ 1) 養成講習会**
新たな有資格指導者の養成として、全国 17 会場で開催し、全 610 名が受講した。
- **JAAF 公認コーチ (JSPO 公認陸上競技コーチ 3) 養成講習会**
JAAF 公認ジュニアコーチの上位資格であり、都道府県陸上競技協会から推薦の指導者と本連盟専門委員会からの推薦者、加えて 2018 年度より資格者養成を開始した日本実業団陸上競技連合選出の指導者を受講者として、理論、実技講習、受講者自身による指導演習等を実施し、109 名が公認コーチ資格取得者となった。
これまでの年 1 回の開催から、2019 年度は 2 回開催とし、受講者数の拡大を図った。
- **U13/U16 指導者講習会**
小学生指導者を対象とした U13 指導者講習会を 3 会場 (120 名)、中学校の指導者を対象とした U16 指導者講習会を 4 会場 (117 名) で実施した。現場には陸上競技の経験が無い指導者も多い状況を鑑み、安全管理を含む、基本的かつ専門的な指導講習を行った。
- **JAAF コーチングクリニック**
全国の指導者に最新のコーチングに関する情報を提供することを目的とし、また、有資格者 (「JAAF 公認ジュニアコーチ」「JAAF 公認コーチ」) の更新研修も兼ねて開催した。
2019 年度「第 26 回 JAAF コーチングクリニック」では、「女性アスリートの三主徴を理解してパフォーマンス向上につなげる」、「真のスポーツマンシップをめざしてスポーツマンシップを理解し実践する意義を考える」、「潜在力を高めるアスリートのためのコーディネーショントレーニング」の 3 講義を行った。
参加者は、有資格者、中学・高校・大学・実業団の指導者や、今後指導者を目指す人等、77 名 (男性 53 名、女性 24 名) であり、そのうち JAAF 公認コーチ・ジュニアコーチ有資格者が 64 名 (83%) であった。
- **中学校部活動における陸上競技指導の手引き**
前年度 WEB サイトにて公開した「中学校部活動における陸上競技指導の手引き」を出版物として発行した。全国の中学校及び中学校関係各所への配布、その他希望により購入可能とした。
- **ワールドアスレティックス (以下「WA」という。) 主催セミナーへの派遣**
2019 年度は「国際陸上競技連盟 (以下「IAAF」という。) CECS Level II Lecturers Course」 「WA Kids Kinesthetic Intelligence Facilitation Seminar」と 2 回のセミナーが中国で開催され、それぞれ指導者養成員会からの派遣を行った。
- **指導者養成に関する検討**
指導者養成指針の策定、指導者資格制度や養成プログラムの見直し等を図るため、ワーキンググループを設置し (強化委員会とも協同)、検討を行っている。

(2) 普及育成事業

- ・ **JAAF アスリート発掘育成プロジェクト U13/U16 アスリートクリニック**
U13は11会場、U16は5会場、合計16会場で、選手692名、指導者237名、保護者433名に向けて、指導者養成委員会から講師を派遣し、発育発達や栄養に関する理論講習、走跳投それぞれの実技講習、成果（記録）測定等を行った。
- ・ **U16 ジュニアブロック研修合宿**
全国9ブロックにおいて、中学生を対象とした研修合宿を行い、選手1,905名（前年より116名増）、指導者486名（同74名増）、計2,391名が参加。参加した指導者のうち有資格者は79名（16.3%）、前年より有資格者の割合は増えているが、今後の指導者養成にとって重要なカテゴリーとなる。また、全会場に指導者養成委員会からの派遣を行い、指導者養成の考えを現場指導者に伝えるとともに、指導者との意見及び情報交換を行った。
- ・ 「日清食品カップ」第35回全国小学生陸上競技交流大会」及び「日清食品カップ」第22回全国小学生クロスカントリー研修大会」
小学生が陸上競技を楽しみ、より多くの子どもたちが長く陸上競技を続けるために、全国小学生陸上の在り方を改めて考え、改革に取り組んでいる。その改革案に沿って、2019年度は、小学生陸上において「小学生コンバインド（混成競技）」や「男女混合リレー」を導入。クロスカントリーについては今回を最後の競技会とした。
- ・ **普及イベント**
主要な主催競技会での普及事業として、木南記念陸上、セイコーゴールデンングランプリ、世界リレー、日本選手権、及び全国小学生陸上等において、「キッズデカスロンチャレンジ」や「10mチャレンジ」を実施した。また、Jリーグの試合会場でのキッズ向け10mチャレンジ等の試みも行った。その他、かけっこイベントや、各団体との連動イベント等、年間を通じて実施した。
- ・ **ランニング普及事業**
市民ランナーへのアプローチとして、長野マラソンでの「JAAF マラソンクリニック」、また、金沢マラソン、熊本城マラソン等において「Denka presents JAAF プレミアムランニングセミナー」を実施した。
- ・ **陸上競技研究紀要VOL.15**
陸上競技の頂点を高くすること、そして裾野を広くすること、その両方向への発展を目指し、また、陸上関係者の様々な取り組みにも役立てて頂くことを目的として、陸上競技研究紀要VOL.15 2019を発行した。制作にあたっては、紀要編集委員会、科学委員会、医事委員会からの協力を仰いだ。

2. 陸上競技の競技力の向上に関する事業並びに陸上競技の国際競技会等に対する代表参加者の選定及び派遣に関する事業

(1) 選手強化

- ・ **カテゴリー強化**
2016年のリオデジャネイロオリンピック後に、種目特化型の「ゴールドターゲットカテゴリー・メダルターゲットカテゴリー」、「トップ8カテゴリー」、「ワールドチャレンジカテゴリー」に振り分け強化施策を進める中で、2019年度はオリンピック前年の非常に重要な期間となった。東京2020オリンピックに向けては、「メダル・入賞」をターゲットとしつつも、「オリンピックの舞台に立つアスリートの最大化」も視野に入れた強化計画を実施した。
ただし、新型コロナウイルス感染症の感染拡大により2020年1月以降の国内の合宿や、海外での合宿・競技会派遣については中止になる等、オリンピックに向けた強化計画に大きな影響を及ぼすこととなった。2019年3月に東京2020オリンピックの延期が決定し、まだ今後の競技会やトレーニングについても明確な見通しが立たない状況ではあるが、2021年開催のオリンピック

に向けて強化戦略の見直しを図りたい。

・U16、U20 カテゴリー強化

U20 オリンピック育成競技者を対象として、国内外で強化・研修合宿を実施した。

2018年に定められた競技者育成指針に基づき、U16 カテゴリーでは、中学生と高校生の育成について、日本中学校体育連盟陸上競技部・全国高等学校体育連盟陸上競技専門部と連携を更に強め、競技会種目の設定や、年齢区分について、新たな取組を行った。ジュニアオリンピックでの年齢区分の変更や、2019年度のU18日本選手権では300m、300mH等オリンピック種目にこだわらない種目設定を取り入れた。

U16・U20 カテゴリーでは「未来のオリンピックの育成」という観点を常に意識し、競技力向上に偏らない研修プログラムを実施した。

・ダイヤモンドアスリート

今年度、5名が修了（原則20歳までが対象）したが、新たに2名を追加し、合計8名となった。対象競技者には、リーダーシッププログラムや、栄養サポートプログラム、語学プログラム等を実施した。東京マラソン財団のスポーツレガシー事業の支援によるダイヤモンドアスリートプログラムや、安藤財団グローバルチャレンジプロジェクトの積極的活用を通じ、競技力向上だけに焦点を当てるのではなく、将来的にスポーツ界で活躍する人材の育成を図った。

ドーハで開催された世界選手権には、ダイヤモンドアスリート修了生が7名選考され、男子4×100mリレーではサニブラウン・アブデルハキームがアジア記録で銅メダルを獲得し、男子走幅跳では橋岡優輝が8位入賞、女子20km競歩では藤井菜々子が7位入賞を果たし、東京2020オリンピックに向けて順調に成長を遂げている。女子やり投では北口榛花が惜しくも決勝進出は逃したが、帰国後の国内競技会において2019年の世界ランキング7位となる66m00の日本記録をマークし、東京2020オリンピックに向けて期待を抱かせる成績を残した。

・ワールドランキング制度

2017年11月に、WAよりワールドランキング制度の導入が発表され、2019年から正式にランキング制度が運用された。このランキング制度は、2019年の世界選手権での導入は見送られたが、東京2020オリンピックの参加資格には導入される。2017年の発表以降、本連盟としてもワールドランキング制度対策は講じており、現段階では国内競技会の配置を含めて、他国と比較しても進んでいる状況には有ると感じている。国内の日本グランプリシリーズの競技会の協力もあり、ハイグレードのカテゴリーの競技会を配置出来ていることは日本人の競技者にとって非常にプラスであると考ええる。

ただ、WAへの記録の報告等の解決すべき課題はまだ残っていることも事実である。オリンピックの参加資格をはじめ、ダイヤモンドリーグ等のハイレベルの国際競技会のエントリーに大きく影響を及ぼす制度でもあるため、引き続き強化委員会のみでなく本連盟全体としての対策を講じていく。

(2) 国際競技会への代表参加者選定及び派遣

・第17回世界陸上競技選手権大会（ドーハ／カタール）

2019年度の重点国際競技会であるドーハ2019世界選手権では、メダル3（金2、銅1）、8位入賞5つで、メダルテーブル8位、プレーシングテーブル11位という成績を取めた。（前回のロンドン大会ではメダルテーブル28位、プレーシングテーブル15位）。

ゴールドメダルカテゴリーに指定する、競歩、男子4×100mリレーにおいては東京2020オリンピックに向けて順調な成績を取めることが出来た。

男子20km競歩では山西利和が金メダル、男子50km競歩では鈴木雄介が金メダルと、東京2020オリンピックに向けた暑熱対策等の周到な準備の結果としてこれ以上ない結果を取めた。女子20km競歩でも岡田久美子が6位、藤井菜々子が7位と複数入賞を果たし、男子20km競歩でも池田向希が6位入賞を果たした。

男子4×100mリレーではアジア記録を更新する37秒43をマークし、アメリカ、イギリスにつ

いで銅メダルを獲得した。リオデジャネイロオリンピックでの銀メダル獲得以降、ロンドン世界選手権での銅メダル、ジャカルタアジア大会での金メダル、今大会での銅メダルと各国とも力をつけてきている中で安定的にメダルを獲得しており、東京 2020 オリンピックでの目標達成に向け着実に力をつけている。

男子走幅跳では橋岡優輝と城山正太郎の 2 名は決勝進出し、橋岡優輝が 7m97 をマークし 8 位入賞を果たした。

東京 2020 オリンピックのマラソン代表選考となるマラソングランドチャンピオンシップ（以下「MGC」という。）が 9 月中旬に開催されたことにより、若手中心の派遣となったが女子マラソンでは高温多湿の過酷な環境の中で谷本観月が 7 位入賞を果たした。

男子 110mH の高山峻野、女子やり投の北口榛花は、あと一歩で決勝進出や 8 位入賞ラインが見える位置にいる。

・ IAAF 世界リレー 2019 横浜大会

当初ナッソーでの開催であったが、開催困難となり横浜市で開催することとなった。オリンピック前年の重要な世界選手権の出場権に直結する競技会を、日本で開催出来る強化上のメリットは非常に大きかった。

優勝を期待された男子 4×100m リレーではバトンパスでミスが生じ、残念ながら予選敗退となったが、その後のセイコーゴールデングランプリ、ドーハ世界選手権で世界リレーでのミスを修正出来たことを考えると、このタイミングでの失敗はすべてがマイナスに働くものではなかった。男子 4×400m リレーでは、世界リレーでは初となる 4 位入賞を果たし、目標であったドーハ世界選手権の出場権を得ることが出来た。また、男女混合 4×400m リレーでも A 決勝には進むことが出来なかったが、予選の記録によって上位 12 チームに与えられるドーハ世界選手権の出場権を得た。

今競技会から初めて行われた男女混合シャトルハードルリレーでは、アメリカに続く 2 位という好成績を収め、男女混合 2×2×400m リレーでも 3 位に入り、新たに取り入れられた種目での日本チームの活躍は、地元開催ならではの雰囲気の中で代表選手が力を発揮できた賜物と考える。

・ その他、次の国際競技会等に、強化方針に基づいて代表選手を派遣した。

主な国際競技会への日本代表派遣は次の通り。

- | | |
|-------------------------|------------------|
| ① 第 17 回世界陸上競技選手権大会 | (2019 年 9 月 ドーハ) |
| ② IAAF 世界リレー 2019 横浜大会 | (2019 年 5 月 横浜) |
| ③ 第 23 回アジア陸上競技選手権大会 | (2019 年 4 月 ドーハ) |
| ④ 第 17 回アジアマラソン選手権大会 | (2019 年 12 月 東莞) |
| ⑤ 第 5 回日中韓 3 カ国交流陸上競技大会 | (2019 年 6 月 金泉) |
| ⑥ 第 26 回日・韓・中ジュニア交流競技会 | (2018 年 8 月 長沙) |

【中止・延期】

- | | |
|--------------------------|---------------------|
| ① 第 20 回世界室内陸上競技選手権大会 | (2020 年 3 月 南京) |
| ② 第 15 回アジアクロスカントリー選手権大会 | (2020 年 3 月 香港) |
| ③ 第 9 回アジア室内陸上競技選手権大会 | (2020 年 2 月 杭州) |
| ④ 第 24 回世界ハーフマラソン選手権大会 | (2020 年 3 月 グディーニャ) |

(3) 医科学サポート研究及び調査

1) 医事

- ・ 主要国内競技会においてメディカルサポートとして医事委員を派遣して、トップ選手のコンディションチェックや相談等を行った。強化合宿における測定合宿へ医事委員を派遣し、選手のメディカルチェックを行った。また、マラソン、競歩、男子短距離、女子リレーに担当者を合宿に派遣する等、強化対象選手のコンディションチェック等を実施し、常にコミュニケーションを取れるような体制を整えた。

- ・昨年に引き続き、女性アスリート特有のスポーツ障害・疾患に着目して、ロールモデルとなる現役トップアスリートや引退したアスリートにヒアリングを実施した。実例をもとに『女性アスリートに知っておいてほしいこと』として障害・疾患の解説・対処法について陸上競技マガジンに特集を掲載し啓発を行った。
- ・メディカル質問箱を設置し、様々な領域の質問に回答し、陸上競技者が抱える問題の解決に努めた。
- ・我が国において、新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が拡大したため、2020年1～3月において十分なメディカルサポートを行うことは出来なかった。そのため、強化指定競技者に対してWEBサイト上での啓発活動、及び体調に関する質問を受けつける窓口を設置した。
- ・スポーツ栄養部では、日本陸上競技連盟栄養セミナー「サプリメントを考える」を2019年4月28日に味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて開催した。
- ・次世代ターゲットスポーツの育成支援事業の一環として、男子4×400mリレーの海外合宿における食事調整についてのサポートを行った。U20オリンピック育成競技者研修合宿においては、栄養講習会及び食事指導を実施した。また、日本実業団陸上競技連合強化合宿での栄養講習を担当した。
- ・JAAF公認ジュニアコーチ養成講習会（全国17会場）及びU13アスリートクリニック（全国11会場）での栄養講習を担当した。また、これらの講習会でサポートが出来る若手栄養士の育成も実施した。

2) 科学

- ・2019年度の科学委員会の活動は、ターゲット種目毎に配置した科学委員会担当者と強化コーチとの連携のもと個別的、実践的なデータ収集と即時的フィードバックに重点を置いた諸活動を展開するとともに、9月のドーハ2019世界選手権及び東京2020オリンピックへ向けた支援活動等を行った。それらの成果物として、陸上競技研究紀要に27編の活動報告書を掲載し、アスリートのパフォーマンス及び技術に関する調査研究データブック2019年度版も併せて発行した。
- ・ハイパフォーマンス・サポート事業（アスリート支援、ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）の基盤整備）や次世代ターゲットスポーツの育成支援事業（日本スポーツ振興センター（JSC））における外部スタッフや外部資金を有効活用しながら、また国立スポーツ科学センター（JISS）とも密接に連携し活動を行うことが出来た。ドーハ2019世界選手権での成績はこうした支援活動がある一定の成果として反映されたものと思われる。
- ・4×100mリレーでは、各個人種目（100mや200m）における走速度変化を、高速度カメラを用いて分析した。また100mは動作分析用二次元映像撮影も行った。またリレー時にはバトンパス区間の走速度変化並びにパス位置の詳細な分析を行った。これらのデータは早急にまとめ、フィードバックした。4×400mリレーでは、100m毎のラップタイムを分析し、フィードバックした。またドーハ2019世界選手権に向けた合宿時ではバトンパス練習での疾走速度変化並びにパス位置を分析し、即時フィードバックをしてトレーニングの質の向上を目指した。またコンディショニングチェックとして体温、心拍数、動脈血酸素飽和度（SpO₂）、唾液中SigA、尿比重、主観度疲労度（VAS）を測定した。これらのチェックの結果、オーバートレーニングを未然に防ぐことが出来、競技会に向けての適切なコンディションを維持する一助となった。また合宿時には毎回、データフィードバック講義を実施している。
- ・東京2020オリンピックに向けた暑熱対策に関する活動として、マラソンでは、MGC（2019年9月15日）におけるレース中の環境測定、サーモグラフィカメラによる体表面温度の計測、レース後の体重及び耳管温度の測定を行った。マラソンキックオフ合宿（2019年9月25日～9月26日：北海道千歳市）において、東京2020オリンピック代表に内定した4選手、所属先コーチ及びマラソン強化スタッフらを対象にMGCでの測定データやこれまでに実施してきた暑熱対策データの総括フィードバック、暑熱順化についての情報提供、意見交換を行った。また、千歳市に設置した暑熱対策ルームも参加選手全員で視察を行い、本番での利活用について理解を深めた。

- ・競歩では、鈴木雄介、山西利和ら 9 選手を対象とし、JISS 及び荒川河川敷にて行ったシミュレーション合宿（2019 年 7 月 29 日～8 月 4 日）において、様々な測定を行った。本番を想定した早朝スタートの練習時（3 回）の環境、体重、深部体温、体表面温度、心拍数、給水量、発汗成分等の測定を行った。練習時の平均気温は 30℃以上、湿度は 60%台、暑さ指数（WBGT）はシミュレーション合宿としては最適な環境下での測定となったため、各選手の暑熱ストレスに対する生理的特徴を把握することが出来た。ドーハ 2019 世界選手権、東京 2020 オリンピックで用いる予定の様々な冷却グッズ等を試用し、改良を加えた冷却グッズを世界選手権時に提供することが出来た。測定結果は 5 日後の合宿（千歳市）において世界選手権対策としてフィードバックし、11 月の研修合宿（味の素ナショナルトレーニングセンター）では全強化選手・コーチと強化委員に対して、これまで実施した暑熱対策 3 年間分の総括データフィードバック講義を行い、充実した意見交換を行うことが出来た。ドーハ 2019 世界選手権では、男女 20km 競歩、男子 50km 競歩におけるレース中の環境測定、サーモグラフィカメラによる体表面温度の計測、他国の暑熱対策（体表面冷却法）についての調査を行った。

（4）アンチ・ドーピング活動

- ・アンチ・ドーピング活動の推進として、本連盟主催及び後援等の 52 競技会において、尿検査 426 件を、アスリートバイロジカルパスポートのための血液検査は約 100 件を競技会前に実施した。49 競技会へ NFR（ナショナルフェデレーションリプリゼンタティブ）を派遣し、ドーピング検査が適正に行われているかどうかを確認した。
- ・日本アンチ・ドーピング機構と連携したアンチ・ドーピング研修会を 1 回、医事委員による研修会を U19 強化研修合宿の 4 会場において実施し教育啓発を行った。
- ・医事委員やスポーツファーマシストを派遣し競技会でのアウトリーチ活動を 5 競技会で行った。

（5）トレーナー活動

- ・国内主要競技会において、医事委員会トレーナー部員を派遣し、選手のコンディショニングサポートや、競技会の救護活動を行った。また、ナショナルチームの遠征や強化合宿にもそれぞれに強化担当のトレーナーを派遣した。また、トレーナー研修会を 4 回開催し、トレーナー部員への情報共有やスキルアップを図った。新規部員のためにトレーナーセミナーを味の素ナショナルトレーニングセンターにおいて 3 日間開催予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため開催を取りやめた。

（6）鉄剤注射行為に対する活動

- ・2019 年 5 月に「不適切な鉄剤注射の防止に関するガイドライン」を策定し、周知徹底を図った。また、2019 年度からの対策として、全国高校駅伝出場校の全エントリー選手に対して鉄剤注射に関する申告書を義務付け、競技会に出場した選手に対してレース終了後に血液検査の実施、結果の報告を求めた。全国中学駅伝のエントリー選手に対しても鉄剤注射に関する申告書を義務付け、今後も不適切な鉄剤注射の根絶を目指す。

3. 国際競技会、日本選手権大会及びその他の競技会の開催に関する事業

（1）国内競技会の開催

- ・第 103 回日本陸上競技選手権大会を福岡県福岡市の博多の森陸上競技場にて開催した。なお、日本選手権 50km 競歩は石川県輪島市、日本選手権 20km 競歩は兵庫県神戸市、日本選手権リレーについては 2018 年度に続いて福岡県北九州市本城陸上競技場にて開催した。
- ・国際競技会として、IAAF 世界リレー2019 横浜大会を神奈川県横浜市の日産スタジアムにて開催。また「IAAF ワールドチャレンジ」セイコーゴールデングランプリ陸上 2019 大阪を大阪府

大阪市ヤンマースタジアム長居にて開催。合計 38 主催競技会を開催した。

- ・2020 年東京オリンピック・マラソン日本代表選手選考競技会として、MGC を開催。また 2019 年冬から 2020 年春にかけ MGC ファイナルチャレンジ（男子 3 競技会／女子 3 競技会）を開催した。

(2) 登録会員

登録会員数は、425,280 人（前年度比－4,854 人）であった。2005 年度以降増加してきたが、14 年ぶりに前年度を下回るようになった。一般は初の 9 万人台となった昨年より微増であったが、高校、中学は 2,000 人台の減少となった。少子化の影響を上回る増加を見せてきたが、ここに来て少子化の影響を避けられなくなってきた。

[登録会員の内訳]

一般	大学	高校	中学	合計
94,364 人 (+760 人)	20,296 人 (-446 人)	111,691 人 (-2,700 人)	198,929 人 (-2,468 人)	425,280 人 (-4,854 人)

※上段：当年度登録会員数、下段：前年度比登録会員数

(3) 競技会の運営

- ・競技会の運営、記録の管理、審判員の資質の向上のための方策の策定及び競技規則の検討を行った。
- ・東京 2020 オリンピックに向けて、WA が定める国内レベルの技術委員を養成する東京 2020 競技役員「NTO (National Technical Official) 資格取得会」を実施し、2017 年 11 月からの合格者数は 304 名となった。

(4) 公認陸上競技場・公認長距離競走（歩）路・用器具の検定

- ・公認競技会等の運営が支障なく行われ、樹立された記録が十分信頼し得る陸上競技場、長距離競走（歩）路及び競技用器具とするための検定を実施し、その結果報告に基づき厳正な審査をした。
- ・第 1 種陸上競技場の WA 認証クラス 2 取得に向けた指導・検定を実施した。
- ・2020 年度より小中学生の普及啓発（育成）を進め、ウェルネス陸上の実現のため、地域の特性に応じた競技会を行い、陸上を楽しめる場を確保するため、公認種別に第 4 種 L（ライト）競技場を設けた。

4. その他の事業

(1) 機関誌等の発行

- ・陸連時報（陸上競技マガジン掲載）／毎月発行
- ・広報誌「JAAF MAGAZINE」（登録会員向け）
- ・広報誌「JAAF MAGAZINE」（小・中・高校向け）
- ・デレゲーションブック
（ドーハ 2019 世界選手権、世界リレー2019、ドーハ 2019 アジア選手権）
- ・陸上競技ルールブック 2019
- ・陸上競技審判ハンドブック 2019－2020
- ・陸上競技研究紀要 VOL.15 2019
- ・中学校部活動における陸上競技指導の手引き
- ・クリーンアスリートをめざして 2020
- ・不適切な鉄剤注射の防止に関するガイドライン

(2) 広報及び財政基盤の充実

- ・ 広報活動においては、ドーハで開催された世界選手権やアジア選手権等でのシニアの活躍にプラスして若い世代の活躍が目立ち、様々な角度からの注目が高まった。それを各メディアより発信してもらい、本連盟自体でも積極的に情報発信を実施し露出拡大を図った。更に、5月に開催した世界リレーや9月に開催したMGCは日本陸上界にとって初めての重要な競技会として、スポーツ界だけでなく一般の方を巻き込み、社会的注目度と認知度が非常に高まった。
- ・ 東京2020オリンピック、そしてその先の陸上界の体制づくりとして「見る」機会の提供ということで日本グランプリシリーズや各競技会でのインターネットライブ配信を積極的に実施した。一部の種目だけでなく、多くの選手・種目・競技会の情報がより世の中に届くように、公式WEBサイトや公式SNS等のオウンドメディアの更新を戦略的に行い、動画コンテンツを充実させ、外部との連携も実施した。
- ・ 広報・プロモーション活動によって関心を喚起して、組織運営や競技会運営における安定的な財政基盤確立への寄与を図った。

(3) 本連盟の組織改革

- ・ 2017年5月に発表した「JAAF VISION 2017」の2つのミッションの1つ、ウェルネス陸上の理念の実現に向けて、2018年11月に、新プロジェクト「JAAF RunLink」を発足した。トップアスリートの育成・強化に注力してきた競技陸上中心のこれまでの取り組みに加え、競技団体としての新たな役割として、すべての人がすべてのステージにおいて陸上競技を楽しめる環境をつくるプロジェクトを開始した。本プロジェクトは主に①記録管理システムの構築、②競技会の取りまとめ、③企業連携の活動を行った。
 - ① 記録管理システムの構築は、ロードランニング競技会の記録を一元的に管理する為のシステムの仕様が決まり、2021年秋頃を目処にデータベースシステムが完成する。2021年4月に向けて、公認のロードランニング競技会のポータルサイト、ランキング、ランナー個人のマイページ等の機能を有するライフログに関するサービスの提供を目指す。
 - ② 競技会の取りまとめは、全国約200の競技会主催者の担当者名簿を作成し、各競技会主催者と直接情報共有が可能な関係性を構築し、各種調査や情報共有が円滑に出来、今後は安全安心に関する基準作りやサービス構築を行うことで競技会主催者の課題解決に努める。
 - ③ 企業連携は、賛助会員制度を立ち上げ23社と約30のアクティベーションを通じて、競技会主催者向けの補償制度の提供、スポーツ実施人口の課題である20代・30代の女性層に向けたイベントやサービスの提供を行い、より一層オープンイノベーションの環境を構築しながら各社と新たな企画やサービスの共創を行っていくことで、ランニング人口の拡大に寄与していく。
- ・ 2019年6月10日にスポーツ庁より、スポーツ団体ガバナンスコード〈中央競技団体向け〉が発表され、13の原則からなるコードの遵守に向けて活動を行った。特に原則2「適切な組織運営を確保するための役員等の体制を整備すべきである」については、女性理事・外部理事登用に関するプロジェクトを立ち上げた。世の中の流れに対応し、陸上競技界を牽引する役割を果たすため、組織力の更なる充実を目指し、加盟団体連絡協議会、協力団体連絡協議会を開催し、スポーツの振興はもとより、社会貢献への積極的な取り組みを図っている。

以上

貸借対照表

2020年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	477,325,195	539,765,684	62,440,489
現 金	241,273	416,853	175,580
普 通 預 金	477,083,922	539,348,831	62,264,909
未 収 入 金	498,364,658	513,304,602	14,939,944
立 替 金	11,220,154	2,996,615	8,223,539
仮 払 金	22,543,966	15,936,891	6,607,075
前 払 金	26,805,000	0	26,805,000
前 払 費 用	13,651,792	45,227,584	31,575,792
貯 蔵 品	3,891,895	3,564,621	327,274
貸 倒 引 当 金	3,376,516	3,077,159	299,357
流動資産合計	1,050,426,144	1,117,718,838	67,292,694
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基 本 財 産 引 当 預 金	499,600,000	499,200,000	400,000
基 本 財 産 引 当 有 価 証 券	700,400,000	700,800,000	400,000
基本財産合計	1,200,000,000	1,200,000,000	0
(2) 特定資産			
N T C 陸上競技場改修引当預金	150,000,000	150,000,000	0
国 際 競 技 会 誘 致 引 当 預 金	500,000,000	500,000,000	0
主 催 事 業 等 引 当 預 金	205,000,000	205,000,000	0
退 職 給 付 引 当 預 金	151,532,452	136,531,004	15,001,448
事 務 所 移 転 等 引 当 預 金	0	830,000,000	830,000,000
特定資産合計	1,006,532,452	1,821,531,004	814,998,552
(3) その他固定資産			
建 物 付 属 設 備	50,833,925	5,083,863	45,750,062
什 器 備 品	29,576,037	7,052,071	22,523,966
差 入 保 証 金	10,558,000	12,468,720	1,910,720
ソ フ ト ウ ェ ア	2,072,817	952,541	1,120,276
その他固定資産合計	93,040,779	25,557,195	67,483,584
固定資産合計	2,299,573,231	3,047,088,199	747,514,968
資産合計	3,349,999,375	4,164,807,037	814,807,662
負債の部			
1. 流動負債			
未 払 金	94,685,991	302,801,554	208,115,563
預 り 金	1,057,797	3,762,700	2,704,903
仮 受 金	4,074,050	8,479,299	4,405,249
前 受 金	0	32,400,000	32,400,000
賞 与 引 当 金	21,435,750	15,280,400	6,155,350
未 払 消 費 税 等	1,477,700	8,800,600	7,322,900
流動負債合計	122,731,288	371,524,553	248,793,265
2. 固定負債			

科 目	当年度	前年度	増 減
退職給付引当金	151,532,452	136,531,004	15,001,448
固定負債合計	151,532,452	136,531,004	15,001,448
負債合計	274,263,740	508,055,557	233,791,817
正味財産の部			
1. 指定正味財産			
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	3,075,735,635	3,656,751,480	581,015,845
(うち基本財産への充当額)	(1,200,000,000)	(1,200,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(855,000,000)	(1,685,000,000)	(830,000,000)
正味財産合計	3,075,735,635	3,656,751,480	581,015,845
負債及び正味財産合計	3,349,999,375	4,164,807,037	814,807,662

貸借対照表内訳表

2020年 3月31日現在

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
資産の部				
1. 流動資産				
現金預金	435,396,713	41,928,482	0	477,325,195
未収入金	498,334,658	30,000	0	498,364,658
立替金	11,220,154	0	0	11,220,154
仮払金	22,543,966	0	0	22,543,966
前払金	0	26,805,000	0	26,805,000
前払費用	9,409,530	4,242,262	0	13,651,792
貯蔵品	3,891,895	0	0	3,891,895
法人会計勘定	52,531,035	0	52,531,035	0
貸倒引当金	3,376,516	0	0	3,376,516
流動資産合計	1,029,951,435	73,005,744	52,531,035	1,050,426,144
2. 固定資産				
(1) 基本財産				
基本財産引当預金	249,600,000	250,000,000	0	499,600,000
基本財産引当有価証券	350,400,000	350,000,000	0	700,400,000
基本財産合計	600,000,000	600,000,000	0	1,200,000,000
(2) 特定資産				
N T C 陸上競技場改修引当預金	150,000,000	0	0	150,000,000
国際競技会誘致引当預金	500,000,000	0	0	500,000,000
主催事業等引当預金	205,000,000	0	0	205,000,000
退職給付引当預金	0	151,532,452	0	151,532,452
特定資産合計	855,000,000	151,532,452	0	1,006,532,452
(3) その他固定資産				
建物付属設備	50,833,925	0	0	50,833,925
什器備品	29,527,487	48,550	0	29,576,037
差入保証金	100,000	10,458,000	0	10,558,000
ソフトウェア	2,008,000	64,817	0	2,072,817
その他固定資産合計	82,469,412	10,571,367	0	93,040,779
固定資産合計	1,537,469,412	762,103,819	0	2,299,573,231
資産合計	2,567,420,847	835,109,563	52,531,035	3,349,999,375
負債の部				
1. 流動負債				
未払金	89,390,139	5,295,852	0	94,685,991
預り金	191,873	865,924	0	1,057,797
仮受金	4,074,050	0	0	4,074,050
賞与引当金	0	21,435,750	0	21,435,750
未払消費税等	0	1,477,700	0	1,477,700
公益会計勘定	0	52,531,035	52,531,035	0
流動負債合計	93,656,062	81,606,261	52,531,035	122,731,288
2. 固定負債				
退職給付引当金	0	151,532,452	0	151,532,452
固定負債合計	0	151,532,452	0	151,532,452
負債合計	93,656,062	233,138,713	52,531,035	274,263,740
正味財産の部				
1. 指定正味財産				
指定正味財産合計	0	0	0	0
2. 一般正味財産				
一般正味財産	2,473,764,785	601,970,850	0	3,075,735,635
(うち基本財産への充当額)	(600,000,000)	(600,000,000)	(0)	(1,200,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(855,000,000)	(0)	(0)	(855,000,000)
正味財産合計	2,473,764,785	601,970,850	0	3,075,735,635
負債及び正味財産合計	2,567,420,847	835,109,563	52,531,035	3,349,999,375

正味財産増減計算書

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	当年度	前年度	増 減
一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用収益	[6,110,097]	[6,094,820]	[15,277]
登録料受入収益	[26,996,900]	[27,224,000]	[227,100]
一般	9,436,300	9,360,400	75,900
学	2,029,600	2,074,200	44,600
高	5,584,550	5,719,550	135,000
中	9,946,450	10,069,850	123,400
加盟金受入収益	[4,700,000]	[4,700,000]	[0]
受取寄付金	[11,038,000]	[20,000,000]	[8,962,000]
受取委託金・助成金	[435,639,791]	[475,818,077]	[40,178,286]
J O C 受取委託金	123,159,753	135,651,854	12,492,101
スポーツ振興基金受取助成金	11,010,000	13,718,000	2,708,000
スポーツくじ受取助成金	269,759,000	254,226,000	15,533,000
ニッポン復活プロジェクト受取助成金	4,438,310	16,666,667	12,228,357
ターゲット育成受取助成金	27,272,728	55,555,556	28,282,828
事業収益	[2,718,839,290]	[1,695,561,486]	[1,023,277,804]
受取協賛金	2,241,315,316	1,280,750,071	960,565,245
参加料収益	29,862,361	37,923,397	8,061,036
入場料収益	79,863,336	60,673,428	19,189,908
プログラム売上収益	2,084,857	2,290,929	206,072
放送権料収益	75,000,000	48,240,742	26,759,258
受取助成金	84,451,600	85,941,800	1,490,200
販賦収益	5,385,850	5,668,000	282,150
認定料収益	150,000,003	160,185,188	10,185,185
その他の収益	50,875,967	13,887,931	36,988,036
その他の事業収益	[31,257,268]	[48,155,674]	[16,898,406]
器具検定料収益	6,698,897	5,747,099	951,798
競技場公認料収益	15,189,584	15,825,000	635,416
ナンバーカード広告料収益	0	18,161,119	18,161,119
後援名義使用料収益	5,070,000	5,160,000	90,000
印税収益	2,260,686	1,261,530	999,156
販売手数料収益	38,101	926	37,175
陸上マガジン編集料収益	2,000,000	2,000,000	0
雑収益	[15,079,160]	[5,755,543]	[9,323,617]
受取利息	116,062	151,741	35,679
雑収益	14,963,098	5,603,802	9,359,296
経常収益計	3,249,660,506	2,283,309,600	966,350,906
(2) 経常費用			
事業費	[3,553,997,901]	[2,160,237,650]	[1,393,760,251]
給与	166,412,313	135,700,678	30,711,635
賞与	40,392,480	25,883,893	14,508,587

科 目	当年度	前年度	増 減
賞 与 引 当 金 繰 入 額	19,575,127	13,954,061	5,621,066
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	13,699,322	6,420,254	7,279,068
法 定 福 利 費	36,726,884	27,310,457	9,416,427
減 価 償 却 費	8,396,472	4,515,709	3,880,763
水 道 光 熱 費	925,641	1,864,693	939,052
旅 費 交 通 費	253,600,056	226,501,334	27,098,722
旅 費 交 通 費 (国 際)	38,838,282	39,663,014	824,732
諸 謝 金	15,123,006	17,470,474	2,347,468
諸 謝 金 (国 際)	140,000	580,000	440,000
通 信 費	(1,114,716)	(684,209)	(430,507)
電 話 料 金	44,110	42,611	1,499
郵 便 料 金	746,282	369,252	377,030
そ の 他	324,324	272,346	51,978
荷 造 配 達 費	7,674,581	6,938,305	736,276
印 刷 製 本 費	39,428,222	26,778,594	12,649,628
賃 借 料	101,378,382	62,655,306	38,723,076
損 害 保 険 料	27,626,025	9,988,918	17,637,107
会 議 費	650,805	748,469	97,664
交 際 費	6,073,705	10,979,669	4,905,964
支 払 手 数 料	(9,124,570)	(7,743,684)	(1,380,886)
銀 行 支 払 手 数 料	285,497	314,321	28,824
そ の 他	8,839,073	7,429,363	1,409,710
業 務 委 託 料	645,993,876	290,147,573	355,846,303
備 消 品 費	50,451,421	33,814,622	16,636,799
新 聞 図 書 費	2,663,095	2,123,667	539,428
租 税 公 課	1,088,425	1,291,524	203,099
大 学 補 助 金	350,000	350,000	0
高 校 補 助 金	5,000,000	5,000,000	0
中 学 補 助 金	9,600,000	9,520,000	80,000
地 域 支 援 金	48,500,000	48,750,000	250,000
強 化 費	(183,350,424)	(108,588,588)	(74,761,836)
旅 費 交 通 費	37,280,591	24,443,882	12,836,709
旅 費 交 通 費 (国 際)	21,949,733	21,083,893	865,840
諸 謝 金	379,436	827,208	447,772
諸 謝 金 (国 際)	666,187	0	666,187
通 信 費	67,423	181,483	114,060
荷 造 配 達 費	206,851	365,533	158,682
賃 借 料	4,943,146	2,685,323	2,257,823
損 害 保 険 料	4,950	1,658,600	1,653,650
交 際 費	98,334	54,023	44,311
支 払 手 数 料	2,392,312	2,068,314	323,998
業 務 委 託 料	28,740,179	15,940,253	12,799,926
備 消 品 費	4,084,535	5,182,902	1,098,367

科 目	当年度	前年度	増 減
雑 費 (国 際)	0	28,864	28,864
支 援 金	0	740,744	740,744
強 化 費	38,384,678	23,659,738	14,724,940
報 奨 金	44,150,000	6,481,482	37,668,518
安 藤 グ ロ フ ィ ャ レ	0	3,186,346	3,186,346
そ の 他	2,069	0	2,069
会 場 設 営 ・ 警 備 費	500,330,041	116,039,231	384,290,810
主 管 料	18,813,133	17,592,594	1,220,539
広 告 宣 伝 費	16,735,439	17,155,106	419,667
競 技 会 費 用 負 担 金	179,018,497	182,873,047	3,854,550
仕 入 商 品 代	2,452,726	2,561,050	108,324
J O C 委 託 事 業 受 取 委 託 費	340,877,607	321,156,339	19,721,268
ス ポ ー ツ 振 興 事 業 受 取 委 託 費	47,282,027	57,657,790	10,375,763
ス ポ ー ツ 振 興 く じ 助 成 事 業 受 取 委 託 費	668,129,012	275,330,252	392,798,760
タ ー ゲ ッ ト エ イ ジ 育 成 強 化 P J 委 託 費	31,036,141	37,683,558	6,647,417
雑 費	6,296,006	6,029,270	266,736
雑 費 (国 際)	9,129,442	191,718	8,937,724
管 理 費	[168,980,279]	[114,696,042]	[54,284,237]
役 員 報 酬	8,250,000	7,800,000	450,000
給 与 ・ 手 当	15,817,552	12,898,400	2,919,152
賞 与	3,839,320	2,460,274	1,379,046
賞 与 引 当 金 繰 入 額	1,860,623	1,326,339	534,284
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	1,302,126	610,247	691,879
法 定 福 利 費	3,490,904	2,595,869	895,035
福 利 厚 生 費	1,728,178	1,484,344	243,834
減 価 償 却 費	1,958,550	849,013	1,109,537
水 道 光 熱 費	87,982	177,240	89,258
旅 費 交 通 費	7,271,080	4,139,883	3,131,197
諸 謝 金	587,211	568,850	18,361
通 信 費	(11,067,134)	(8,095,845)	(2,971,289)
電 話 料 金	5,241,067	4,187,083	1,053,984
郵 便 料 金	2,149,684	2,652,688	503,004
そ の 他	3,676,383	1,256,074	2,420,309
荷 造 配 達 費	5,150,843	39,770	5,111,073
印 刷 製 本 費	130,090	218,850	88,760
賃 借 料	8,392,133	3,993,649	4,398,484
損 害 保 険 料	52,200	75,564	23,364
会 議 費	956,553	403,883	552,670
交 際 費	985,915	708,842	277,073
支 払 手 数 料	(19,740,538)	(17,371,552)	(2,368,986)
銀 行 支 払 手 数 料	1,753,150	1,532,760	220,390
派 遣 費	9,768,995	7,642,266	2,126,729
そ の 他	8,218,393	8,196,526	21,867

科 目	当年度	前年度	増 減
業 務 委 託 料	13,309,868	8,315,197	4,994,671
備 消 品 費	22,151,225	5,075,479	17,075,746
新 聞 図 書 費	338,323	1,408,482	1,070,159
租 税 公 課	309,595	6,950	302,645
教 育 研 修 費	267,771	203,371	64,400
加 盟 料	560,987	582,428	21,441
諸 会 費	88,000	125,040	37,040
寄 付 金	0	1,000,000	1,000,000
雑 費	39,285,578	32,160,681	7,124,897
経常費用計	3,722,978,180	2,274,933,692	1,448,044,488
評価損益等調整前当期経常増減額	473,317,674	8,375,908	481,693,582
評価損益等計	0	0	0
当期経常増減額	473,317,674	8,375,908	481,693,582
2. 経常外増減の部			
(1) 経常外収益			
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			
前 期 概 算 計 上 差 額	[87,110,182]	[0]	[87,110,182]
移 転 時 復 旧 費 等	[11,987,900]	[0]	[11,987,900]
固 定 資 産 廃 棄 損	[8,600,089]	[0]	[8,600,089]
経常外費用計	107,698,171	0	107,698,171
当期経常外増減額	107,698,171	0	107,698,171
当期一般正味財産増減額	581,015,845	8,375,908	589,391,753
一般正味財産期首残高	3,656,751,480	3,648,375,572	8,375,908
一般正味財産期末残高	3,075,735,635	3,656,751,480	581,015,845
指定正味財産増減の部			
受 取 寄 付 金	[0]	[10,000,000]	[10,000,000]
当期指定正味財産増減額	0	10,000,000	10,000,000
指定正味財産期首残高	0	10,000,000	10,000,000
指定正味財産期末残高	0	0	0
正味財産期末残高	3,075,735,635	3,656,751,480	581,015,845

正味財産増減計算書内訳表

2019年 4月 1日から2020年 3月31日まで

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用収益	[3,055,049]	[3,055,048]	[0]	[6,110,097]
基本財産運用収益	3,055,049	3,055,048	0	6,110,097
登録料受入収益	[26,996,900]	[0]	[0]	[26,996,900]
一 般	9,436,300	0	0	9,436,300
学 連	2,029,600	0	0	2,029,600
高 校	5,584,550	0	0	5,584,550
中 学	9,946,450	0	0	9,946,450
加盟金受入収益	[4,700,000]	[0]	[0]	[4,700,000]
加盟金受入収益	4,700,000	0	0	4,700,000
受取寄付金	[11,038,000]	[0]	[0]	[11,038,000]
受取寄付金	11,038,000	0	0	11,038,000
受取委託金・助成金	[435,639,791]	[0]	[0]	[435,639,791]
J O C 受取委託金	123,159,753	0	0	123,159,753
スポーツ振興基金受取助成金	11,010,000	0	0	11,010,000
スポーツくじ受取助成金	269,759,000	0	0	269,759,000
ニッポン復活プロジェクト受取助成金	4,438,310	0	0	4,438,310
ターゲット育成受取助成金	27,272,728	0	0	27,272,728
事業収益	[2,559,532,817]	[159,306,473]	[0]	[2,718,839,290]
受取協賛金	2,082,008,843	159,306,473	0	2,241,315,316
参加料収益	29,862,361	0	0	29,862,361
入場料収益	79,863,336	0	0	79,863,336
プログラム売上収益	2,084,857	0	0	2,084,857
放送権料収益	75,000,000	0	0	75,000,000
受取助成金	(84,451,600)	(0)	(0)	(84,451,600)
受取助成金	84,451,600	0	0	84,451,600
販 賦 収 益	(5,385,850)	(0)	(0)	(5,385,850)
審判員カード	2,398,000	0	0	2,398,000
審判員手帳	1,989,600	0	0	1,989,600
審判員バッジ	857,250	0	0	857,250
検定メジャ	80,000	0	0	80,000
その他	61,000	0	0	61,000
認定料収益	150,000,003	0	0	150,000,003
その他の収益	(50,875,967)	(0)	(0)	(50,875,967)
(仮)その他の	23,394,251	0	0	23,394,251
その他の	27,481,716	0	0	27,481,716
その他の事業収益	[31,257,268]	[0]	[0]	[31,257,268]
器具検定料収益	(6,698,897)	(0)	(0)	(6,698,897)
器具検定料収益	6,698,897	0	0	6,698,897
競技場公認料収益	(15,189,584)	(0)	(0)	(15,189,584)
競技場公認料	15,189,584	0	0	15,189,584
後援名義使用料収益	5,070,000	0	0	5,070,000
印 税 収 益	2,260,686	0	0	2,260,686
販売手数料収益	38,101	0	0	38,101
陸上マガジン編集料収益	2,000,000	0	0	2,000,000
雑 収 益	[8,460,402]	[6,618,758]	[0]	[15,079,160]
受取利息	90,604	25,458	0	116,062
雑 収 益	8,369,798	6,593,300	0	14,963,098
経常収益計	3,080,680,227	168,980,279	0	3,249,660,506
(2) 経常費用				
事業費	[3,553,997,901]	[0]	[0]	[3,553,997,901]
給与・手当	166,412,313	0	0	166,412,313
賞 与	40,392,480	0	0	40,392,480
賞与引当金繰入額	19,575,127	0	0	19,575,127

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
退職給付引当金繰入額	13,699,322	0	0	13,699,322
法定福利費	36,726,884	0	0	36,726,884
減価償却費	8,396,472	0	0	8,396,472
水道光熱費	925,641	0	0	925,641
旅費交通費	253,600,056	0	0	253,600,056
旅費交通費(国際)	38,838,282	0	0	38,838,282
諸謝金	15,123,006	0	0	15,123,006
諸謝金(国際)	140,000	0	0	140,000
通信費	(1,114,716)	(0)	(0)	(1,114,716)
電話料金	44,110	0	0	44,110
郵便料金	746,282	0	0	746,282
その他	324,324	0	0	324,324
荷造配達費	7,674,581	0	0	7,674,581
印刷製本費	39,428,222	0	0	39,428,222
賃借料	101,378,382	0	0	101,378,382
損害保険料	27,626,025	0	0	27,626,025
会議費	650,805	0	0	650,805
交際費	6,073,705	0	0	6,073,705
支払手数料	(9,124,570)	(0)	(0)	(9,124,570)
銀行支払手数料	285,497	0	0	285,497
その他	8,839,073	0	0	8,839,073
業務委託料	645,993,876	0	0	645,993,876
備消費品費	50,451,421	0	0	50,451,421
新聞図書費	2,663,095	0	0	2,663,095
租税公課	1,088,425	0	0	1,088,425
大学補助金	350,000	0	0	350,000
高校補助金	5,000,000	0	0	5,000,000
中学校補助金	9,600,000	0	0	9,600,000
地域支援金	48,500,000	0	0	48,500,000
強化費	(183,350,424)	(0)	(0)	(183,350,424)
旅費交通費	37,280,591	0	0	37,280,591
旅費交通費(国際)	21,949,733	0	0	21,949,733
諸謝金	379,436	0	0	379,436
諸謝金(国際)	666,187	0	0	666,187
通信費	67,423	0	0	67,423
荷造配達費	206,851	0	0	206,851
賃借料	4,943,146	0	0	4,943,146
損害保険料	4,950	0	0	4,950
交際費	98,334	0	0	98,334
支払手数料	2,392,312	0	0	2,392,312
業務委託料	28,740,179	0	0	28,740,179
備消費品費	4,084,535	0	0	4,084,535
強化費	38,384,678	0	0	38,384,678
報奨金	44,150,000	0	0	44,150,000
その他	2,069	0	0	2,069
会場設営・警備費	500,330,041	0	0	500,330,041
主管料	18,813,133	0	0	18,813,133
広告宣伝費	16,735,439	0	0	16,735,439
競技会費用負担金	179,018,497	0	0	179,018,497
仕入商品代	(2,452,726)	(0)	(0)	(2,452,726)
審判員カード	187,044	0	0	187,044
S級バツジ	305,000	0	0	305,000
審判員手帳	1,329,664	0	0	1,329,664
審判員バツジ	549,018	0	0	549,018
検定メジャ	76,000	0	0	76,000
その他	6,000	0	0	6,000

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
J O C 委 託 事 業 受 取 委 託 費	340,877,607	0	0	340,877,607
ス ポ ー ツ 振 興 事 業 受 取 委 託 費	47,282,027	0	0	47,282,027
ス ポ ー ツ 振 興 く じ 助 成 事 業 受 取 委 託 費	668,129,012	0	0	668,129,012
タ ー ゲ ッ ト エ イ ジ 育 成 強 化 P J 委 託 費	31,036,141	0	0	31,036,141
雑 費 (国 際)	6,296,006	0	0	6,296,006
9,129,442	0	0	0	9,129,442
管 理 費	[0]	[168,980,279]	[0]	[168,980,279]
役 員 報 酬	0	8,250,000	0	8,250,000
給 与 手 当	0	15,817,552	0	15,817,552
賞 与	0	3,839,320	0	3,839,320
賞 与 引 当 金 繰 入 額	0	1,860,623	0	1,860,623
退 職 給 付 引 当 金 繰 入 額	0	1,302,126	0	1,302,126
法 定 福 利 費	0	3,490,904	0	3,490,904
福 利 厚 生 費	0	1,728,178	0	1,728,178
減 価 償 却 費	0	1,958,550	0	1,958,550
水 道 光 熱 費	0	87,982	0	87,982
旅 費 交 通 費	0	7,271,080	0	7,271,080
諸 謝 金	0	587,211	0	587,211
通 信 費	(0)	(11,067,134)	(0)	(11,067,134)
電 話 料 金	0	5,241,067	0	5,241,067
郵 便 料 金	0	2,149,684	0	2,149,684
そ の 他	0	3,676,383	0	3,676,383
荷 造 配 達 費	0	5,150,843	0	5,150,843
印 刷 製 本 費	0	130,090	0	130,090
賃 借 料	0	8,392,133	0	8,392,133
損 害 保 険 料	0	52,200	0	52,200
会 議 費	0	956,553	0	956,553
交 際 費	0	985,915	0	985,915
支 払 手 数 料	(0)	(19,740,538)	(0)	(19,740,538)
銀 行 支 払 手 数 料	0	1,753,150	0	1,753,150
派 遣 費	0	9,768,995	0	9,768,995
そ の 他	0	8,218,393	0	8,218,393
業 務 委 託 料	0	13,309,868	0	13,309,868
備 消 品 費	0	22,151,225	0	22,151,225
新 聞 図 書 費	0	338,323	0	338,323
租 税 公 課	0	309,595	0	309,595
教 育 研 修 費	0	267,771	0	267,771
加 盟 料	0	560,987	0	560,987
諸 会 費	0	88,000	0	88,000
雑 費	0	39,285,578	0	39,285,578
経常費用計	3,553,997,901	168,980,279	0	3,722,978,180
評価損益等調整前当期経常増減額	473,317,674	0	0	473,317,674
評価損益等計	0	0	0	0
当期経常増減額	473,317,674	0	0	473,317,674
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	0
(2) 経常外費用				
前 期 概 算 計 上 差 額	[87,110,182]	[0]	[0]	[87,110,182]
移 転 時 復 旧 費 等	[0]	[11,987,900]	[0]	[11,987,900]
固 定 資 産 廃 棄 損	[0]	[8,600,089]	[0]	[8,600,089]
経常外費用計	87,110,182	20,587,989	0	107,698,171
当期経常外増減額	87,110,182	20,587,989	0	107,698,171
他会計振替前当期一般正味財産増減額	560,427,856	20,587,989	0	581,015,845
当期一般正味財産増減額	560,427,856	20,587,989	0	581,015,845
一般正味財産期首残高	3,034,192,641	622,558,839	0	3,656,751,480

科 目	公益目的事業会計	法人会計	内部取引消去	合計
一般正味財産期末残高	2,473,764,785	601,970,850	0	3,075,735,635
指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0	0
正味財産期末残高	2,473,764,785	601,970,850	0	3,075,735,635

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
- ①満期保有目的の債券……償却原価法(定額法)によっている。
- ②その他の有価証券
- ・時価のあるもの……移動平均法による時価法によっている。
 - ・時価のないもの……移動平均法による原価法によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
貯蔵品……最終仕入原価法によっている。
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
- ①貸倒引当金……債権の貸倒による損失に備えるため、見込み額を計上している。
- ②賞与引当金……職員に対して支給する賞与の支出に充てるため、支給見込額に基づき計上している。
- ③退職給付引当金……職員の退職金支給に備えるため、自己都合による期末要支給額の100%を計上している。
- (5) リース取引の処理方法
リース物件の所有権が借主に移転すると認められるもの以外のファイナンス・リース取引については、通常の賃貸借取引に係る方法に準じた会計処理によっている。
- (6) 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は、税抜方式によっている。

2. 会計方針の変更

なし

3. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
基本財産引当預金	499,200,000	400,000	0	499,600,000
基本財産引当有価証券	700,800,000	0	400,000	700,400,000
小 計	1,200,000,000	400,000	400,000	1,200,000,000
特定資産				
N T C 陸上競技場改修引当預金	150,000,000	0	0	150,000,000
国際競技会誘致引当預金	500,000,000	0	0	500,000,000
主催事業等引当預金	205,000,000	0	0	205,000,000
退職給付引当預金	136,531,004	15,001,448	0	151,532,452
事務所移転等引当預金	830,000,000	0	830,000,000	0
小 計	1,821,531,004	15,001,448	830,000,000	1,006,532,452
合 計	3,021,531,004	15,401,448	830,400,000	2,206,532,452

4. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
基本財産引当預金	499,600,000	(0)	(499,600,000)	(0)
基本財産引当有価証券	700,400,000	(0)	(700,400,000)	(0)
小 計	1,200,000,000	(0)	(1,200,000,000)	(0)
特定資産				
N T C陸上競技場改修引当預金	150,000,000	(0)	(150,000,000)	(0)
国際競技会誘致引当預金	500,000,000	(0)	(500,000,000)	(0)
主催事業等引当預金	205,000,000	(0)	(205,000,000)	(0)
退職給付引当預金	151,532,452	(0)	(0)	(151,532,452)
小 計	1,006,532,452	(0)	(855,000,000)	(151,532,452)
合 計	2,206,532,452	(0)	(2,055,000,000)	(151,532,452)

5. 担保に供している資産

なし

6. 固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高

固定資産の取得価額、減価償却累計額及び当期末残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	取得価額	減価償却累計額	当期末残高
建物付属設備	55,308,302	4,474,377	50,833,925
什器備品	38,074,802	8,498,765	29,576,037
ソフトウェア	31,391,178	29,318,361	2,072,817
合 計	124,774,282	42,291,503	82,482,779

7. 保証債務等の偶発債務

なし

8. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

銘柄等	帳簿価額	時 価	評価損益
第4回三菱UFJフィナンシャルグループ永久社債劣後免除特約	200,000,000	200,880,000	880,000
第4回三井住友フィナンシャルグループ任意償還条項付永久劣後債	200,000,000	204,780,000	4,780,000
ゴールドマンサックスグループ社債	100,400,000	100,240,000	△ 160,000
モルガンスタンレーファイナンスLLCインデックス連動債	200,000,000	199,660,000	△ 340,000
合 計	700,400,000	705,560,000	5,160,000

9. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末 残 高	当 期 増加額	当 期 減少額	当期末 残 高	貸借対照表上 の記載区分
選手強化NF事業	日本オリンピック委員会	0	75,218,182	75,218,182	0	—
選手強化活動事業	日本オリンピック委員会	0	31,045,455	31,045,455	0	—
選手強化NF事業 ターゲットエイジ育成強化	日本オリンピック委員会	0	530,000	530,000	0	—
コーチ強化事業 男女投てき砲丸ブロック合宿	日本オリンピック委員会	0	8,159,751	8,159,751	0	—
日韓競技力向上スポーツ(派遣/受入) 交流事業	日本オリンピック委員会	0	6,580,910	6,580,910	0	—
国際審判員養成プログラム TOKYO2020国際審判員養成研修会	日本オリンピック委員会	0	1,625,455	1,625,455	0	—
国際審判員養成プログラム TOKYO2020競技スタッフ養成プログラム	日本オリンピック委員会	0	3,000,000	3,000,000	0	—
競技会開催競技力向上事業 ジュニアオリンピック	日本スポーツ振興センター	0	5,010,000	5,010,000	0	—
競技会開催競技力向上事業 日本選手権20km競歩	日本スポーツ振興センター	0	3,000,000	3,000,000	0	—
競技会開催競技力向上事業 U20日本室内	日本スポーツ振興センター	0	200,000,000	200,000,000	0	—
国際競技会開催事業 世界リレー横浜2019	日本スポーツ振興センター	0	27,272,728	27,272,728	0	—
競技力向上事業 次世代アスリート育成強化事業	日本スポーツ振興センター	0	4,438,310	4,438,310	0	—
競技力向上事業 有望アスリート海外強化支援	日本スポーツ振興センター	0	25,035,000	25,035,000	0	—
アスリート発掘・一貫指導育成 U16研修合宿	日本スポーツ振興センター	0	7,317,000	7,317,000	0	—
アスリート発掘・一貫指導育成 アスリート発掘育成プロジェクトクリニック	日本スポーツ振興センター	0	19,320,000	19,320,000	0	—
アスリート発掘・一貫指導育成 U19強化研修合宿	日本スポーツ振興センター	0	4,800,000	4,800,000	0	—
スポーツ活動 IAAF RUN24:1 OUT RUN THE SUN	日本スポーツ振興センター	0	1,130,000	1,130,000	0	—
スポーツ情報の提供 パフォーマンス技術の調査研究	日本スポーツ振興センター	0	4,739,000	4,739,000	0	—
スポーツ情報の提供 冊子発行(連盟会報誌)	日本スポーツ振興センター	0	320,000	320,000	0	—
スポーツ情報の提供 ジュニア選手のスポーツ障害調査	日本スポーツ振興センター	0	1,600,000	1,600,000	0	—
スポーツ情報の提供 研究紀要発刊	日本スポーツ振興センター	0	2,000,000	2,000,000	0	—
スポーツ情報の提供 冊子発行(テレケージンブック)	日本スポーツ振興センター	0	1,572,000	1,572,000	0	—
スポーツ情報の提供 アスリート・ヒング教育啓蒙活動	日本スポーツ振興センター	0	1,926,000	1,926,000	0	—
ドーピング検査事業	日本スポーツ振興センター	0	3,211,800	3,211,800	0	—
国内競技会補助金 (セイコー-GGP)	国際陸上競技連盟	0	75,897,000	75,897,000	0	—
選手強化交付金 (選手強化NF事業全般)	日本オリンピック委員会	0	200,000	200,000	0	—
選手強化交付金 (U20U18日本選手権)	日本オリンピック委員会	0	2,000,000	2,000,000	0	—
科学・医学的研究事業 助成金	ミスノスポーツ振興財団	0	1,600,000	1,600,000	0	—
東京2020アスリート強化研修活動 助成金	江副記念財団	0	542,800	542,800	0	—
IAAF AOD CECS/ジュニアコーチ 助成金	国際陸上競技連盟	0	1,000,000	1,000,000	0	—
国内競技会補助金 (日本選手権)	上月財団	0			0	—
合 計		0	520,091,391	520,091,391	0	

10. 関連当事者との取引の内容

なし

11. 重要な後発事象

なし

12. その他

なし

附 属 明 細 書

1. 基本財産および特定資産

基本財産および特定資産の明細については、財務諸表の注記において記載している。

2. 引当金の明細

引当金の当期の増減額および残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
貸倒引当金	3,077,159	3,376,516	0	3,077,159	3,376,516
賞与引当金	15,280,400	21,435,750	15,280,400	0	21,435,750
退職給付引当金	136,531,004	15,001,448	0	0	151,532,452

財産目録

2020年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	合 計
(流動資産)			
現金	手許保管	運転資金として	241,273
普通預金	三菱東京UFJ銀行 渋谷支店	同上	477,083,922
		(現金預金計)	477,325,195
未収入金		公益目的事業・受取協賛金他に関する未収入金	498,334,658
		法人会計に関する未収入金	30,000
立替金		公益目的事業・競技会運営等に関わる立替金	11,220,154
仮払金		公益目的事業・競技会運営等に関する仮払金	22,543,966
前払金		法人会計に関する前払金	26,805,000
前払費用		公益目的事業・保険料他に関する前払費用	9,409,530
		法人会計に関する前払費用	4,242,262
貯蔵品	審判員カード (3727枚)	公益目的事業・審判員資格保有者に供する	145,353
	審判員バッジ (4949個)	同上	791,840
	審判員手帳 (2751個)	同上	555,702
	検定メジャー (29個)	同上	2,204,000
	テーブキャッチャー (65個)	同上	195,000
		(貯蔵品計)	3,891,895
貸倒引当金		未収入金等に対する貸倒引当金	△ 3,376,516
流動資産合計			1,050,426,144
(固定資産)			
基本財産	基本財産引当預金	(定期預金) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 公益目的事業、法人の運営管理目的保有財産であり、基本財産の運用益のうち50%を公益目的事業、50%を法人の運営管理に使用している。	499,600,000
	基本財産引当有価証券	第4回三菱UFJフィナンシャルグループ 永久社債劣後免除特約 同上 第4回三井住友フィナンシャルグループ 任意償還条項付永久劣後債 同上 ゴールドマン・ Sachsグループ 社債 同上 モルガンスタンレーファイナンスLLCインテックス連動債 同上	200,000,000 200,000,000 100,400,000 200,000,000
		(基本財産計)	1,200,000,000
特定資産	N T C 陸上競技場改修引当預金	(定期預金) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 特定費用準備資金であり、N T C 陸上競技場改修事業のために引当てている	150,000,000
	国際競技会誘致引当預金	(定期預金) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 特定費用準備資金であり、国際競技会誘致のために引当てている	500,000,000
	主催事業等引当預金	(定期預金) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 特定費用準備資金であり、主催事業等に備えるために引当てている	205,000,000
	退職給付引当預金	(定期預金) 三菱東京UFJ銀行 渋谷支店 職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき引当てている	151,532,452
		(特定資産計)	1,006,532,452
その他固定資産	建物付属設備	移転内装工事 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F 共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	23,007,468
		移転照明工事 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F 同上	2,639,095
		移転電源工事 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F 同上	1,938,861
		壁画アート内装工事 (エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F 同上	1,833,334
		専有フロアB工事 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F 同上	21,415,167
		(建物付属設備計)	50,833,925

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	合計
その他固定資産 什器備品	I A A F キッズアスレティック器具 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1
	ノートPC (TOSHIBA) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
	ノートPC (Surface①) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
	ノートPC (Surface②) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
	ノートPC (Surface③) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	1
	ノートPC (Surface④) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
	ノートPC (東芝ダイレクト) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1
	無線式光電管測定器 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	62,910
	ノートPC (Surface⑤) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	11,259
	人工芝マット142.9㎡(かけっこイベント用) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	450,004
	コピー機 キヤノン iRC7580 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共有財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	345,004
	コピー機 コニカミノルタ C754e 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	318,170
	無線式光電管測定器② 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	97,203
	ノートPC (Surface⑥) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	31,573
	デスクトップPC (NEC) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	37,288
	ノートPC (Surface laptop①) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	38,091
	ノートPC (Surface laptop②) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	43,334
	ノートPC (Surface book) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	57,916
	ノートPC (Surface laptop③) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	60,935
	タブレット端末(iPadPro wifiモデル512GB①)NTC 北区西が丘3-15-1 味の素フオナルトレンディングセンター	同上	65,523
	タブレット端末(iPadPro wifiモデル512GB②)NTC 北区西が丘3-15-1 味の素フオナルトレンディングセンター	同上	65,523
	アイスマス(iCepot-Duo)NTC 北区西が丘3-15-1 味の素フオナルトレンディングセンター	同上	641,797
	サイネージディスプレイ横型2台(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共有財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	308,334
	サイネージディスプレイ縦型1台/ケース(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	722,500
	4面マルチスクリーン(会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	3,106,667
	液晶テレビ(会議室B) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	352,500
	液晶テレビ(会議室C) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	352,500
	液晶テレビ(会議室D) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	352,500
	液晶テレビ(フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	472,500
	セキュリティカメラ(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	163,334
	R型表彰台ベンチ(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	333,698
	アークベンチ(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	535,261
	カウンターテーブル(エントランス) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,433,334
	A V機器収納ラック(会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	107,500

貸借対照表科目	場所・物量等	使用目的等	合計
	ホワイトボード(会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	142,250
	会長デスク(会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	627,084
	応接テーブル/チェア一式(会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	2,313,490
	キャビネット(会長室) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	243,040
	ファミレスベンチ/テーブル一式(ミーティングスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	2,183,594
	ハイカウンター/収納棚一式(カフェスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	2,228,386
	冷蔵庫(カフェスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	344,445
	R型ベンチ/収納棚一式(フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,567,709
	ソファ一式(フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	597,969
	ローテーブル(フリースペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	156,771
	窓側ラウンドテーブル(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	190,455
	職員用デスク一式(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	2,742,146
	専務局長用デスク一式(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	264,630
	職員用ロッカー一式(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,468,450
	スライドキャビネット一式(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	1,360,413
	金庫(ワークスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	440,163
	ハンガーラック(ストックスペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	156,771
	パンフレットラック(エントランススペース) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	286,667
	ノートPC(Surface laptop④) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	77,542
	ノートPC(Surface laptop⑤) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	87,293
	ノートPC(Surface laptop⑥) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	87,293
	ノートPC(Surface laptop⑦) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	87,294
	ノートPC(Surface laptop2①) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	87,436
	ノートPC(Surface laptop2②) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	90,741
	唾液中マーカー測定器(科学委員会) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	145,800
	会議室管理ユニットサイネージ①(会議室A) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	共用財産であり、公益目的事業、法人の運営管理に使用している	170,859
	会議室管理ユニットサイネージ②(会議室B) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	170,860
	会議室管理ユニットサイネージ③(会議室C) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	170,860
	会議室管理ユニットサイネージ④(会議室D) 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	170,860
	オフィスLANアクセスポイント機器本体 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	347,601
		(什器備品計)	29,576,037
差入保証金	JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 入居保証金 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	10,458,000
	バーチャルオフィス保証金 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	100,000
		(差入保証金計)	10,558,000

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合計	
	ソフトウェア	大会エントリーシステム（大会エントリー機能追加） 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	8,000	
		大会エントリーシステム（リレーエントリー機能追加） 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	同上	33,333	
		マイナンバー管理システム 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	法人の運営管理に使用している	64,817	
		登録システム（支払/データ取得機能追加） 新宿区霞ヶ丘町4-2 JAPAN SPORT OLYMPIC SQUARE 9F	公益目的事業に使用している	1,966,667	
			(ソフトウェア計)	2,072,817	
固定資産合計				2,299,573,231	
資産合計				3,349,999,375	
貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	合計	
(流動負債)	未払金		公益目的事業に関する未払金	89,390,139	
			法人の運営管理に関する未払金	5,295,852	
				(未払金計)	94,685,991
	預り金		公益目的事業に関する預り金	191,873	
			法人の運営管理に関する預り金	865,924	
				(預り金計)	1,057,797
仮受金		公益目的事業に関する仮受金	4,074,050		
賞与引当金		職員の賞与に供する	21,435,750		
未払消費税等		未払消費税等として	1,477,700		
流動負債				122,731,288	
(固定負債)	退職給付引当金		職員の退職給付に備えるため、当事業年度末における退職給付債務に基づき引当てている	151,532,452	
固定負債合計				151,532,452	
負債合計				274,263,740	
正味財産				3,075,735,635	

監査報告書

公益財団法人 日本陸上競技連盟
会長 横川 浩 殿

公益財団法人 日本陸上競技連盟

監事 山田 浩一 

監事 前島 伸行 

監事 室城 信之 

私たち監事は、公益財団法人日本陸上競技連盟の2019年4月1日から2020年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その結果を次のとおり報告いたします。

1. 監査方法及びその内容

- (1) 計算書類及び財産目録の監査については、帳簿の閲覧、会計証憑の確認、決算書類の表示の検討等、必要と認められる手続きを実施しました。
- (2) 理事の職務並びに事業報告及びその附属明細書の監査については、理事会に出席し、理事から業務の報告を聴取し、関係書類の閲覧、その他必要と思われる監査手続きを実施して、理事の職務の遂行並びに事業報告及びその附属明細書の妥当性を検討しました。

2. 監査意見

- (1) 事業報告及びその附属明細書に関する監査結果
事業報告及びその附属明細書は、法令又は定款に従い当法人の状況を正しく示していると認めます。
- (2) 理事の職務の遂行に関する監査結果
当法人の理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。
- (3) 計算書類及び財産目録に関する監査結果
計算書類及び財産目録は当法人の財産及び正味財産の増減の状況をすべての重要な点において適正に表示していると認めます。

以上